

就学前教育推進計画

1 教育・保育の充実

2 園における子育ての支援

はじまりは乳幼児期から
～生きる力の基礎を培う就学前教育～

3 地域に開かれた園運営

4 教職員の資質の向上

I 推進施策

1 教育・保育の充実	(1) 自分の世界を広げ、自立できる子どもの育成	(2) ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育・保育の推進
	<p>① 子ども一人一人が、安心して自己を表出し、主体的に環境に関わる教育・保育を通して「育みたい資質・能力」を育む。</p> <p>② 子どもが環境との関わり方や意味に気づき、これらを取り込もうとして試行錯誤したり、考えたりしようとする姿を支える教育・保育を通して、“「問い」を発する子ども”の育成を図る。</p>	<p>① 地域の自然や文化等、身近な環境と十分な関わりをもたせ、多様な感動体験を通してふるさとへの愛着心を育む。</p> <p>② 身近な人と関わる楽しさや役に立ったり認められたりする喜びを通して、様々な活動に意欲と自信をもって自ら取り組む姿勢を育む教育・保育を推進する。</p>
2 園に育おける支援	(3) 豊かな心と健やかな体の育成	(4) 小学校以降の学びにつながる教育・保育
	<p>① 5領域のバランスを考慮し、心身の調和がとれた発達を促す総合的な保育を展開する。</p> <p>② 信頼関係に支えられた生活を基盤とした様々な人との関わりの中で、自己有用感を培い、道徳性や社会性の醸成を図る。</p>	<p>① 互いに思いを伝え合い、生活や遊びを通して他者と関わって活動する楽しさを味わうなど、協同する経験の充実を図る。</p> <p>② 「育みたい資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点とした保育の充実・改善により、就学前教育と小学校教育との円滑な接続を図る。</p>
3 地域に開かれた園運営	(1) 保育者の専門性や、園の特性を生かした子育ての支援	(2) 家庭や地域と共に子ども一人一人の育ちを支える子育ての支援
	<p>① 子どもの育ちについて保護者と相互理解を深め、保護者が子どもの成長に気づき、子育ての喜びを感じられるよう、保育者の専門性や園の特性を生かした支援に努める。</p> <p>② 家庭の状況に応じた支援を推進するために、地域の関係機関等との連携及び協働を図り、園全体の体制構築に努める。</p>	<p>① 子ども一人一人が心身ともに健康な生活を送ることができるよう、家庭や地域と共にその成長・発達を支える。</p> <p>② 特別支援教育コーディネーターを核とした園内支援体制を整え、個別の教育的ニーズを把握するとともに、家庭や関係機関と連携し、より適切な支援ができるように努める。</p>
4 教職員の資質の向上	(1) 特色ある園を創造するカリキュラム・マネジメントの確立	(2) 主体的な活動としての生活や遊びを促す教育・保育の計画
	<p>① 幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、園目標を実現するための全体的な計画や教育課程を作成し実施する。</p> <p>② 学校(園)評価等を実施し、その情報を積極的に公開し、家庭や地域社会との連携の下に、園運営の改善・充実を図る。</p>	<p>① 一人一人の子どもの発達や学びに必要な経験が得られるよう、ねらいと内容を明確にした指導計画を作成し、意図的・計画的な環境の構成と関わりでの充実を図る。</p> <p>② 「育みたい資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点に、具体的な子どもの姿を通して保育を振り返り、評価・反省を基に指導計画の改善を図る。</p>
4 教職員の資質の向上	(1) 信頼され、魅力ある園及び保育者を目指す研修	(2) 今日的な課題に対応するための研修
	<p>① 自園の課題を共通理解し、全職員の参画意識を高め、研修リーダーを中心とした園内研修の充実を努める。</p> <p>② 課題意識をもって園内外の研修会に参加し、キャリアステージに応じた研修を通して保育者としての資質及び専門性の向上に努める。</p>	<p>① 「育みたい資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点とした保育改善に関する研修を推進する。</p> <p>② インクルーシブ教育システムの理念の下、個別の教育的ニーズのある子どもの理解と合理的配慮を踏まえた保育の在り方についての研修を推進する。</p>